

日本鉄鋼協会記事

研究委員会

第1回研究委員会 開催日: 3月26日. 出席者: 荒木委員長, ほか16名.

鉄鋼の基礎研究とその技術開発への寄与というテーマで行われ, 企業および大学の中立的立場の両方を経験された長島晋一氏, 高橋愛和氏より基礎研究とはなにか, 共同研究のあり方などについての講演があつた. 今後は二講師に話しをしていただいたことを参考にし, 前回までに各委員より提案があつたテーマを再度 break down し, 研究の進め方を検討する. さらに, 企業が大学に望むテーマ, および大学自身が考えているテーマを次回までに提出し検討することになった.

編集委員会

第2回和文会誌分科会 開催日: 4月16日. 出席者: 鈴木幹事, ほか15名.

1. 論文審査報告
2. 新着原稿の校閲, 査読者選定
3. 「鉄と鋼」第62年第9号掲載記事決定
4. 特集号「大型鋼塊の製造と加工」の原稿入手状態について報告
5. 特集号「ステンレス鋼」について, 特集号小委員会における原稿依頼ならびに勧誘状況について報告

第2回欧文会誌分科会 開催日: 4月13日. 出席者: 橋口主査, ほか6名.

1. 9件の論文につき審査報告がなされ, 掲載不適当1件, 修正依頼3件, 照会后掲載可2件, 掲載可3件であつた.
2. 「鉄と鋼」62年5号高炉の炉内状況特集号の研究論文, 及び「鉄と鋼」以外の国内雑誌より研究論文2件について, 投稿を勧誘することとなつた.

共同研究会

原子力部会

第43回第4小委員会 開催日: 2月19日. 出席者: 一色委員長, ほか11名.

1. 多目的高温ガス炉研究開発の現況
原研・佐野川委員より原研における, 主として高温ガス炉の伝熱流動に関する研究活動状況の解説があり討議を行なつた.
2. 文献研究 (IAEA-SM-200)
 - (1) Environmental Conditions in HTRS and the Selection and Development of Primary Circuit Materials.
 - (2) The First year of Operation at 950°C in the AVR Power Station.

鉄鋼生産設備能力調査本委員会

製鉄設備部会

第2回製鉄設備分科会 開催日: 3月25日. 出席者: 鈴木部会長兼主査, ほか8名.

1. 製鉄各社提出データの処理法の検討
各社より高炉操業データ作成上の留意点が述べられた. 最近新しい炉頂装入装置が採用されているため炉内容積の決め方を明確にしておく必要がある. 当面協会方式にて炉内容積を算出する.
2. 炉頂圧と限界送風量との関係
この関係を2次式で表示できないか討論され, 更に検討することとなつた.
3. 各要因のヨークス比に及ぼす効果
過去のデータを整理し各要因に対する数値を決定した.
4. 今後の進め方
データを整理し, 算定式を作成する作業に移る.
5. 次回開催について
第3回は4月28日に鋼管本社で開催する.

鋼板設備部会

第1回ホットストリップ設備分科会

開催日: 3月23日. 出席者: 松本主査, ほか14名.
ホットストリップ分科会幹事会と兼ねて行なわれた. 今後の分科会の運営法について討議した後, 下記の順で設備能力算定方式の検討を行なつた.

1. 全ミルの能力調査結果報告
協会方式による各事業所ミルの能力調査
2. 検討項目および其担の決定
調査結果をもとに検討項目を選定し, この検討項目についての各社の其担が決定された.
3. 今後のスケジュール
報告書原案作成を8月末に予定し, それまでの委員会の活動スケジュールが決定された.

第1回コールドストリップ設備分科会

開催日: 3月11日. 出席者: 坂東主査直属幹事, ほか18名.

コールドストリップ分科会幹事会と兼ねて行なわれた. 第23回分科会開催に関する議題審議の後, 鉄鋼生産設備能力見直しの件について検討を行ない以下のことが決定された.

1. 能力算定式の諸係数決定について
タンデムおよびレバースの各諸係数を調査するにあつた各社の分担
2. 今後のスケジュールについて
報告書原案作成を8月中旬に予定し, それまでの能力算定式作成のスケジュール

鉄鋼基礎共同研究会

特殊精錬部会

第5回第5分科会 開催日：3月12日. 出席者：宇田幹事，ほか15名.

1. 研究発表

(1) Hydrogen and Cracking in ESW Weld Metal.
(川鉄，中野他)……ESW溶接金属中及びスラグ中の拡散性水素をIIWをモデファイした方法(水銀法)で測定し割れとの関係を調べた結果について報告がなされた.

(2) エレクトロスラグ溶接金属の水素の挙動
(名大，篠田他)……ESWにおける水素および若干の化学成分の挙動におよぼす極性，フラックス組成，および溶接条件の影響について実験的に調べた結果の報告.

(3) ESRにおけるスラグ・メタル反応

(東北大，菊地他)……CaO-SiO₂-CaF₂三元系溶製フ

ラックス及びFe-Mn系，Fe-C系，Fe-C-Mn系電極線を用いたESRを行ないMn，C，Oのスラグ・メタル反応についての実験結果が報告された.

第8回第6分科会 開催日：3月16日. 出席者：尾上主査代行，11名.

1. ESR文献第2集完成報告

第1集で抜けていたものを補充し，1974，75年発表の文献を中心にまとめ，欧文215件，邦文51件を集録したものである。また付録として，単行本および本部会の第4分科会でまとめられたESRのスラグの物性に関するものを編集した。この文献集の一般頒布価格は100円(送料込)とした。尚，文献カードについては前回と同様予約頒布にすることにした。

2. 特殊精錬関係文献カード作成状況の確認.

3. 材質特性データに関する調査の進め方について検討した.

ESR文献カード第2集の有償頒布について

鉄鋼基礎共同研究会「特殊精錬部会の第6分科会は第1～第5分科会のESR研究活動を円滑に実施するための参考資料，ならびにESRに関係する研究者および現場技術者の操業指針を目的に，ESRに関する国際シンポジウム学協会誌および専門誌に発表された海外および国内の論文資料を可能な限り収集してまいりました

そして，この度文献集第2集を発刊いたしました。調査の便を計るために第2集収録分の文献カードを作成致しました。

文献カードの特長は

(1) 図表をすべて日本語に要訳し，文献内容の概略を把握出来る。

(2) 所定の分類項目で分類穿孔してあり，項目別の索引が可能である。

等多くの特長を有し，利用法の1例としてESR材の疲労データを入手したい場合には，ソートホールNo. 94で文献カード21枚を抜き，カードに記載されている図表の内容を調査し，文献を入手すれば現在迄に公表されているESR材の疲労データがわかります。

なお，文献カードは印刷の部数によりコストが大幅に異なりますので，予約制をとっていますが，今回の機会を外しますと追加注文により印刷する事が出来ません。従って今回出来るだけ多くの大学，研究所，(株)で購入されることをお奨めします。

1. 概算頒布価格 15,000円/268枚 申込み部数によつて異なります。

2. 申込要領 ハガキ，または手紙で書名，部数，送付先を明記のうえ，下記までお申込み下さい。

3. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4
経団連会館3階 日本鉄鋼協会技術部 (03-279-6021)

4. 締切日 昭和50年5月15日

5. 備考 頒布希望部数が僅少の場合は非常にコスト高になりますので印刷を中止する事があります。その場合は頒布希望をされた各位に別途連絡致します。

6. 追記 ESR文献カードの第1集分が4部在庫がありますのでお知らせします。

価格は30,000円/662枚